

追加募集します つながりひろがる 地域づくり事業補助金

4月に募集したつながりひろがる地域づくり事業補助金では、26件の事業が交付決定されました。市では、引き続き予算の範囲内で2次募集を行います。市民活動団体や区などに関わる団体が地域の皆さんと積極的に取り組む事業にぜひご活用ください。

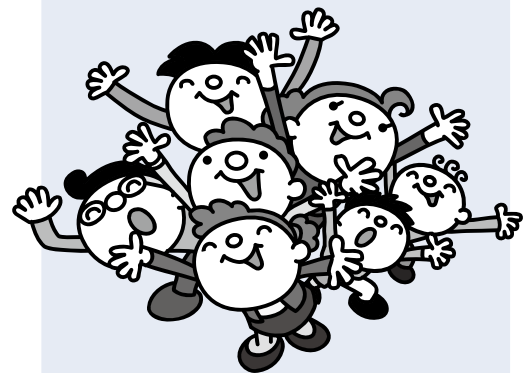
●補助金交付額

対象経費の2分の1以内
(上限20万円)

●募集期間・応募方法

6月20日(木)から7月12日(金)までの間に、申請書に必要事項を記載し、団体の規約・役員名簿・事業計画、事業予算書を添付して各総合支所地域支援課へ提出してください。募集要領および申請書は各総合支所地域支援課、または市ホームページから入手できます。

☎各総合支所地域支援課または、
県安曇野庁舎内まちづくり推進課
☎71・2000(代) ☎71・5000



**家庭の味を広めることで
新たな交流も生まれました**
3年前から食に関心がある仲間が集まり、家庭料理をおいしくするコツや行事食などを教える料理教室を始めました。補助金は会場借用や調味料など原材料費などに活用しました。毎回、40人ほどの参加があり、子育て中の母親や料理好きの男性、市外の人なども参加しています。地元の皆さんから提供された有機栽培の野菜や旬の野菜



ほほえみの会
ひらたよねこ
平田米子さん
(豊科・成相)

**地域づくりで
人との交流の輪を広げる**
平成24年度つながりひろがる地域づくり事業補助金活用団体から
を使い、ダシも最初から作るなどして市販品とは違う味がとても好評です。参加した皆さんが住んでいる地域で作る方を広めたり、自主的に教室の準備を手伝ってくれたりして新たな交流も生まれています。今後は、料理に使う食材の生産者との交流なども予定しています。教室をきっかけに、みんなが笑顔になるわが家の味を作ってもらえたらいいですね。

**ふるさととは良い所だと
感じ合える地域にしたい**
地域の歴史・文化を学ぼうと45人程で活動しています。伝統行事の掘り起こしや、区内の中学生と交流する費用などに補助



七日市場の歴史を学ぶ会
そねはらかかず
曾根原孝和さん
(三郷明盛・七日市場)

金を活用しました。中学生との交流では、学校の地域学習に協力し、区の歴史や地理、文化などを教えています。熱心に取り組む中学生の姿に、私たちもあらためて地域を見直し、子どもたちと共に学ぶ、良い機会にもなっています。学習後には、中学生と道で気軽にあいさつを交わすこともあり、地域の中でぬくもりのある関係が深まってきたと感じています。
会の活動が、七日市場の地域づくりにも役立っていると仲間といつも話しています。これからも地域の皆さんや子どもたちが、ふるさととは良い所だと感じ合えるよう活動を続けていきます。



フォーラムの後半では、参加者からは講師へたくさんの質問が寄せられた

考

協働の原点を考える
自分の生き方を変えることから、
やがて周囲や地域が変わっていく

市では協働のまちづくりフォーラムを6月2日、豊科公民館で開きました。当日は、約350人の皆さんが参加。2人の講師が協働の原点となる生き方について講演しました。

**心を磨いて、
限界を自分で決めないこと**

前リッツ・カールトン日本支社長

高野登さん

高野さんは「ホスピタリティという生き方―心をつくる―」と題して講演。ホテルマンの経



集客力は、人を集める力ではなく、人が集まってくる力と話す高野さん

験から「サービスを提供する場合、技能のみでなく、信頼感やその人に備わる魅力が大切です。同様に魅力的な地域は、そこに住む人により形成され、住民の心のあり方が地域づくりの力となります」と話しました。
高野さんは、住民の生き方として「自分の心の形を作ること」が重要とし「自分の限界を決めず、日々、相手を思いやり、自分の可能性を引き出すことが、自分の心を磨くことになりま

**子どもも大人も夢を持ち、
夢がかなえられる安曇野に―**

メンタルトレーナー

加藤史子さん

加藤さんは、安曇野で子育てをしたいと、県外から安曇野市へ移り住みました。「未来は選べる」と題した講演で加藤さんは「安曇野をもっと良くしたい、子どもだけでなく大人も夢を語り、かなえられる場所にしませ



ワークショップでは参加者が実現したい夢をお互い発表し合った

んか」と会場に訴えました。
この講演は、参加者が、互いの夢を声に出して具体的に語り、傾聴し合うなどワークショップ形式で進行了ました。講演の最後に、加藤さんは「夢を達成した自分やそれまでの過程を想像して、目標を持つことが実現への近道です。実現すること



夢を実現した自分を想像してと話す加藤さん